

「(仮称)区画整理記念・交流会館基本構想(案)」にかかる
パブリック・コメント手続きの実施結果について

1. 意見募集の概要

(1) 意見募集期間

平成27年12月28日(月)～平成28年1月27日(水)

(2) 募集方法

持参、送付、ファックス、電子メール

(3) 閲覧・配布場所

- ①港区役所総務課(港区役所6階)
- ②港区役所区民情報コーナー(港区役所1階)
- ③港区民センター
- ④港近隣センター
- ⑤港区老人福祉センター
- ⑥港区子ども・子育てプラザ
- ⑦港図書館 など

2. 意見受付結果

(1) 意見受付通数

- ・受付通数 16通
- ・意見総数 127件

(2) 受付通数の内訳

・受付方法別(通)

| 持参 | ファックス | 電子メール |
|----|-------|-------|
| 4 | 6 | 6 |

・性別(人)

| 男性 | 女性 | 無回答 |
|----|----|-----|
| 10 | 4 | 2 |

・年齢別(人)

| 20歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳以上 | 無回答 |
|------|------|------|------|-------|-----|
| 1 | 4 | 2 | 4 | 1 | 4 |

・居住状況等(人)

| 区内居住 | 区内在勤・在学 | 府内居住 | 不明 |
|------|---------|------|----|
| 11 | 1 | 1 | 3 |

(3) 意見総数 127件の内訳

| 内 容 | 件 数 |
|---------------------|-----|
| (仮称) 交流会館がめざす機能について | 4 |
| (仮称) 交流会館での取り組みについて | 69 |
| 運営にかかる基本方針について | 26 |
| その他全般について | 28 |

3. ご意見の要旨とご意見に対する考え方

パブリック・コメントでいただきましたご意見とご意見に対する考え方は、別紙のとおりとなります。

なお、いただいたご意見につきましては、趣旨を踏まえて要約しております。

(仮称)区画整理記念・交流会館基本構想(案)に対する意見募集(パブリック・コメント)に
寄せられたご意見の要旨とご意見に対する考え方

お寄せいただいたご意見の要旨については、項目ごとに整理し、それに対する考え方をまとめました。なお、ご意見は趣旨を踏まえて要約しております。

| 章番号 | 分類 | ご意見の要旨 | ご意見に対する考え方 | 基本構想案での関連記載 |
|-------------------|----|--|--|---|
| I【経過】 | | ・弁天町の駅は港区の入口なので区の特徴になる施設に。 | 将来にわたって広く区民に役立ち、今後の港区のまちづくりに貢献する、港区を象徴する公共施設として整備します。 | 【経過】 ・・・平成27年1月28日の大阪市戦略会議で、将来にわたって広く区民に役立ち、今後の港区のまちづくりに貢献する公共施設「(仮称)区画整理記念・交流会館(以下(仮)交流会館)」を整備するとともに、大阪みなと中央病院を共同事業者として港区の地域医療・災害時医療の拠点機能の形成をめざすことを内容とする記念事業の実施を決定しました。 ・・・戦後70年、港区政90周年の節目の年に、この記念事業の趣旨を区民の皆さんと共有し、今後の港区のまちづくりに貢献する施設として、平成33年度の完成をめざして具体化していきます。 |
| | | ・(仮称)区画整理記念・交流会館は今後のまちづくりに貢献する施設として大変重要である。 | | |
| | | ・新しい港区が弁天町を中心に発展していくために、私たち世代と若い世代が協力しながら未来に向かっていきたいと思う。 | | |
| II【(仮)交流会館がめざす機能】 | | ・港区役所の窓口対応は大阪一で、区民はそれを享受するだけでなく誇りに思っている。これを区役所だけでなく、(仮)交流会館で行うすべてで区民と一体になって行いたいと思う。 | (仮)交流会館が幅広い世代の交流と活動を促進する拠点として、港区のコミュニティをさらに活性化し、将来にわたって活力と潤いのあるまちづくりに貢献できるよう、区民の皆さんと一体になって取り組んでいきたいと考えています。 | 【(仮)交流会館がめざす機能】 出会いと交流の起点・「交流会館」 幾多の自然災害や戦争による壊滅的な被害を乗り越えてきた港区の「まちのあゆみ」を後世も含めて幅広い世代に伝えるとともに、出会いと交流の起点としての役割を担うことにより、港区に豊かなコミュニティを醸成し、将来にわたって誰もが自分らしく安心していきいきと暮らし活動することができる、潤いと活力あるまちづくりに貢献する施設にしていきたいと考えています。 |
| | | ・交流会館がハブの役割を担うという考え方は、過去、現在、未来に伝えていくという点でも大変よいと思う。 | | |
| | | ・①まちづくりのあゆみ、②出会いと交流が生まれる、③災害時の防災拠点は過去、現在、未来とつながっていくイメージで。明るく進んでいくイメージの「交流会館」になればよいと思う。 | | |
| | | ・八方美人を狙わず、この地の成り立ちから防災・減災を柱にした運営でも可。 | (仮)交流会館は、①まちづくりのあゆみを伝える拠点、②出会いと交流が生まれる起点、③災害時の防災拠点の機能を持ち、幾多の自然災害や戦争による壊滅的な被害を乗り越えてきた「まちのあゆみ」を後世も含めて幅広い世代に伝えるとともに、出会いと交流の起点としての役割を担うことにより、港区に豊かなコミュニティを醸成し、将来にわたって誰もが自分らしく安心していきいきと暮らし活動することができる、潤いと活力あるまちづくりに貢献する施設にしていきたいと考えています。 | 幾多の自然災害や戦争による壊滅的な被害を乗り越えてきた港区の「まちのあゆみ」を後世も含めて幅広い世代に伝えるとともに、世代を超えて人々が出会い、交流・活動し、ここから生まれたものをそれぞれの人が地域で生かすことにより、更に「つながり」の輪がまち全体に広がっていく、出会いと交流の起点・「ハブ※」の役割を担います。 (仮)交流会館を起点として人々のつながりの輪が広がっていくことで港区に豊かなコミュニティを醸成し、将来にわたって誰もが自分らしく安心していきいきと暮らし、活動することができる潤いと活力あるまちづくりをめざします。 そのため、以下のような拠点づくりをめざします。 (1)まちづくりのあゆみを伝える拠点 土地区画整理事業による戦災復興や幾多の自然災害を乗り越えてきた港区のまちのあゆみを後世に伝えていくための拠点とします。 (2)出会いと交流が生まれる起点 子どもから高齢者まで幅広い世代の区民の活動・交流を促進することにより、豊かなコミュニティを醸成する起点とします。 (3)災害時の防災拠点 津波等の災害時に対応できる防災拠点として活用します。 |
| | | ・名称は「ハブ・ハンド」がよい。 | | |

| | | | |
|---|---|---|--|
| <p>Ⅲ-1-1 【まちづくりのあゆみを伝える資料の収集・展示・発信】</p> | <p>・「こうあってほしい」と希望するのは、「歴史展示こそ記念事業の核に！」という1点。 ・例えば「港区歴史館」などの名称で独立した施設にするべき。 ・区画整理の経過と成果を再度整理することはもちろん、その否定的側面ともされる諸問題(運河の埋め立てなど)も検証して、継続した調査・研究も可能な施設とするべき。 ・老人福祉センターと子ども・子育てプラザを廃止せずに存続させ、その2施設の機能の一体化としての「世代間交流」機能を記念会館に持たせることをやめ、ホールと図書館とエントランス以外の全スペースを歴史展示に充てることを希望する。 ・次善の策として、せめて記念会館のワンフロア全面を使って独立した展示施設とすることを希望する。</p> <p>・まちづくりのあゆみのパネル展示は不要。情報はすべてデジタル化して図書館に収納。常駐学芸員による資料編纂。テーマごとに映写解説。</p> <p>・「まちづくりのあゆみを伝える資料の収集・展示・発信」とあるが、ここで語られるのは『過去』であり、あまり重きを置いてほしくない。「出会い・活動・交流の起点」こそ『未来』を語るもので、この交流会館の核であるべき。</p> <p>・まちづくりのあゆみを伝える拠点の展示は、デジタルコンテンツに限るべきで、過去の展示より未来に向けての展示をしてほしい。</p> <p>・「まちづくりのあゆみを伝える拠点」と「災害時の防災拠点」とは通ずる部分があり大事だと思われる。ほこりをかぶらない、日々更新できるような展示はできないものか？</p> <p>・港図書館で区の歴史博物館として史料を展示し、戦争で被災した歴史や水害等のスペースをとる。</p> | <p>エントランスをはじめ共用スペースで、港区のまちづくりのあゆみを伝える資料を展示し、施設を訪れる人が港区の歴史に自然とふれられるよう工夫します。 土地区画整理事業等の港区のまちづくりの歴史を学ぶことができる記念スペースを図書館の一面に設けます。また、まちづくりのあゆみをわかりやすく興味を持って学べるように、図書館郷土資料コーナーと連動させるなど工夫を凝らして整備します。 今年度、戦後70年、区政90周年の取組みとして、区民の皆さんにも呼びかけ、土地区画整理事業をはじめ港区のまちづくりの歴史に関わる資料を収集しています。これらも活用してわかりやすい展示内容となるように努めます。 (仮)交流会館のオープン後も引き続き、港区のまちづくりのあゆみに関する資料などの収集に努めるとともに、資料のデジタル化など、後世にわたって長く伝えることのできるよう工夫します。</p> | <p>【まちづくりのあゆみを伝える資料の収集・展示・発信】 ○港区のまちづくりの歴史を伝えるスペースの設置 ・エントランスをはじめ共用スペースで、港区のまちづくりのあゆみを伝える資料を展示し、施設を訪れる人が港区の歴史に自然とふれられるよう工夫します。 ・土地区画整理事業等の港区のまちづくりの歴史を学ぶことができる記念スペースを図書館の一面に設けます。また、まちづくりのあゆみをわかりやすく興味を持って学べるように、図書館郷土資料コーナーと連動させるなど工夫を凝らして整備します。</p> <p>○さらなる資料の収集と保管 ・(仮)交流会館のオープン後も引き続き、港区のまちづくりのあゆみに関する資料などの収集に努めるとともに、資料のデジタル化など、後世にわたって長く伝えることのできるよう工夫します。</p> |
| <p>Ⅲ-1-2 【区民の活動情報等のプラットフォーム】</p> | <p>・区内の催事情報や地域活動等を集約して発信。区内の子育てや高齢者向けの情報が分かる機能も。港区には「みなトクモン」があるが港区のよいものを紹介できる展示を。</p> | <p>区内の催事や地域活動に関する情報、子育てや高齢者向けの情報、区の魅力情報等を集約・提供します。</p> | <p>【区民の活動情報等のプラットフォーム】 港区では、サークル活動やボランティア活動をはじめ、多数の区民による活動が行われています。そのような活動や区内のさまざまなサービスや催しなどに関する情報を収集・発信する、楽しいことを予感させるワクワク感のある情報のプラットフォームをめざします。</p> <p>○情報の収集・発信 ・サークル活動や講座、イベントなど、これまで各施設で発信していた情報を集約し一体的に発信します。 ・民間施設も含めた区内の各施設に関する情報や地域の活動情報についても積極的に収集・発信します。 ・このような利用者や区民の視点に立った情報の収集・発信が可能となるよう実施体制や方法などについて検討します。</p> |
| <p>Ⅲ-2 【出会い・活動・交流の起点】</p> | <p>・運動機能に関する施設は各所にバラバラに設置するのではなく、どこか一方所に集約して障がい者と健常者や児童と高齢者の交流を日常的に発生させることができる。</p> | <p>これまで個別の施設として運営してきた「区民センター」「老人福祉センター」「子ども・子育てプラザ」が持つそれぞれの機能と、(仮)交流会館に移転・拡張する港図書館の機能を相乗的に発揮させることで、施設利用者間でさまざまな出会いと交流が生まれるように工夫します。このため、諸室については安全面に配慮したうえで、一部を除き専用ではなく共用による使用とします。</p> | <p>【出会い・活動・交流の起点】 ……これまで個別の施設として運営してきた「区民センター」「老人福祉センター」「子ども・子育てプラザ」が持つそれぞれの機能と、(仮)交流会館に移転・拡張する港図書館の機能を相乗的に発揮させることで、施設利用者間でさまざまな出会いと交流が生まれるように工夫します。このため、諸室については安全面に配慮したうえで、一部を除き専用ではなく共用による使用とします。</p> |

| | | | | |
|---------------------------|----------|---|--|---|
| Ⅲ-2-1 【気軽に立ち寄り集える場の提供】 | 全体 | ・いろいろな人が自由に出入りし結果的に世代間の交流が起きているような場所に。 | 幅広い世代の人が利用し、憩い、楽しみ、交流できるスペース等を確保するとともに、交流を生み出すイベントなどのプログラムを実施します。 | 【気軽に立ち寄り集える場の提供】 特別な目的がなくても気軽に利用でき、普段は出会わない人どうしが出会い交流することのできるオープンなスペースを提供します。 |
| | カフェ・スペース | ・カフェスペース、喫茶・軽食コーナーを充実し、隣接院内食の販売やコンビニ的なものもあるとよい。 ・利権で入る喫茶店は不要。セルフサービス。当然全館禁煙。 ・飲食の持込はやめた方がよい。何でも持ち込まれると管理も大変。 | 簡単な飲食ができるカフェスペースを設ける方向で検討します。 運営主体については、公正に決定します。なお、運営主体がない場合は、いすやテーブル、自動販売機を置く程度のもになります。 受動喫煙防止対策として、敷地内は全面禁煙とする予定です。 会館内での飲食の持込みのルールについてはカフェスペースの状況も踏まえ、今後検討していきます。 | 【気軽に立ち寄り集える場の提供】 ○自由に利用できるカフェ・スペース ・簡単な飲食ができるカフェ・スペースを設け、多様な世代が自由に利用できるようにすることで、学校や職場などとは違う区民の居場所をつくります。 |
| | 多目的スペース | ・オープンな多目的スペース、十分な採光が取れる明るい空間がほしい。何でもできるような広いロビースペース。ギャラリーなどで作品展示ができれば、区役所にあるギャラリーより少し広めでスペースを活用しては、ギャラリーは交流スペースの壁を利用する。 ・エコやリサイクルコーナー、子どものお店コーナーも時々できるような「特設コーナー」があればよいと思う。 | 広く明るいエントランスの確保をめざします。またエントランスの一部にオープンな多目的スペースを設け、会館に来たことをきっかけに話がはずんだり交流できる場として提供するとともに、世代間交流イベントやミニコンサート、ミニサロンや作品展、特設コーナーなどに利用できるようにします。 | 【気軽に立ち寄り集える場の提供】 ○オープンな多目的スペース ・自主的なサークルの茶話会や、講座や教室等で意気投合した人どうしが話し合いに利用できるようスペースを設け、コミュニケーションの場を提供します。 ・会館に来たことをきっかけに、話がはずんだり交流できる場を提供します。 ・講座・教室の個人練習や放課後の自習など、利用者が思い思いの目的にも使えるようにします。 ・ミニコンサートや作品展など、活動の発表の場としても活用します。 |
| Ⅲ-2-2 【区民活動の支援】 | ホール | ・大きなイベントや軽スポーツが開催できる中核となるホールで、交通の核となる場所なので区民に限らずいろいろな人を呼び込みたい。 ・ホールの平土間の面積を現在よりも広くし、より多目的な用途での使用を可能にしてほしい。建設予定地は駅直結の好立地で、幹線道路沿いで物品や楽器などの運搬面でもポテンシャルが高い。若干広めの平土間を有するホールを整備することで、様々な用途に利用できるホールへ近づく。大阪市内でも20m×20mを超える広さを有する区民センター・区民ホールは全体の半数程度で、西部にはほとんどないのが現状であるので、その広さのホールがほしい。 | 演劇やコンサートのほか、講演会や大規模なセミナー、展示会、発表会、フリーマーケットなど、若年層をはじめ幅広い世代の人たちが区内外から集まる、多様な使用ができる柔軟性の高いホールを設けます。 ホールは、現区民センターと同規模(一部ロールバック式400席程度)の多目的ホールを整備する予定です。 | 【区民活動の支援】 ○多様な目的に対応できる部屋・設備 ・演劇やコンサートのほか、講演会や大規模なセミナー、展示会、発表会、フリーマーケットなど、若年層をはじめ幅広い世代の人たちが区内外から集まる、多様な使用ができる柔軟性の高いホールを設けます。 【多目的ホール】 ・一部ロールバック式(※座席が収納可能となる形態)400席程度(ロールバック席収納時の平土間面積は現区民ホールと同規模程度を確保)を基本とした多目的ホールを整備します。 |

| | | | |
|------------------------|---|--|---|
| <p>ホールや会議室などの設備・備品</p> | <p>・ホールの舞台袖に簡易な音響操作機器がほしい。発表会等に必要である。リハーサル時の調整や講演会などの音響操作に利用したい。</p> <p>・ホールの音響設備について、現時点で最新の装置といえども時間とともに劣化し不良になることは避けられず、10年先、30年先に新しい装置に交換できるのかどうか、専門家の意見も聞いておいては。</p> <p>・舞台袖に利用者が簡単に平土間照明のボタン操作や、マイク・CDプレーヤーの再生や音量調節だけ操作できる操作卓(イメージはタッチパネル式のもの)を設置し、より細かい調整は調光室で技術者のみが操作できるようにすれば誰でも利用しやすい。</p> <p>・世代間交流の促進は良いアイデアだと思う。高齢者も生きがいを持ち、子育て世代は息抜きができる場が必要だと思う。(例)同じフロアをアコーディオンカーテンで仕切り、必要に応じて開閉する。</p> <p>・出会いと交流が生まれる起点として、一部の区民寡占化はご法度。図書室を除き全面フラット・オープンスペース化。移動間仕切りで必要スペースを確保。</p> <p>・有料間仕切りスペースの有効利用。</p> <p>・ホールや会議室、研修室などは利用頻度の高い広さに。またパーティションで区切れるような広さに。会議室は可動式の壁とする。遮音性能の徹底。</p> | <p>ホールの音響設備や備品等については、現在の区民ホール以上のものを前提に、予算の範囲内で最大限設置できるよう努めます。</p> <p>ホールに導入する設備は、今後実施していく設計段階において、専門家などの意見も聞きながら検討します。</p> <p>施設利用者間でさまざまな出会いと交流が生まれるよう、諸室については安全面に配慮したうえで、一部を除き専用ではなく共用による使用とします。</p> <p>大きな部屋には、分割して利用ができるようパーティションの設置を検討します。</p> <p>ホールや軽運動室には、防音対策を行います。</p> | <p>【区民活動の支援】</p> <p>○多様な目的に対応できる部屋・設備</p> <p>・演劇やコンサートのほか、講演会や大規模なセミナー、展示会、発表会、フリーマーケットなど、若年層をはじめ幅広い世代の人たちが区内外から集まる、多様な使用ができる柔軟性の高いホールを設けます。</p> <p>・講座やセミナー、打ち合わせ等に使える会議室を設けます。大きな違う会議室を配置するほか、パーティションで区切るなどの工夫を行い、さまざまな用途に柔軟に対応できるようにします。</p> <p>・そのほか、軽運動室や調理スペースなど、ニーズの高い部屋やスペースを設けます。</p> <p>・これらの部屋やスペースには、防音や音響など、それぞれの用途に合った設備や備品を備えます。</p> <p>【会議室・講習室・サークル室】</p> <p>・大きな部屋には分割して利用が可能となるようパーティションの設置を検討します。</p> |
| <p>調理スペース</p> | <p>・調理スペースは、20名ぐらいで使える調理室を。</p> | <p>キッチン機能を備えた調理スペースを確保する予定です。大きさや調理台のタイプなどについては、他施設での利用状況や運営面も踏まえながら検討します。</p> | <p>【区民活動の支援】</p> <p>○多様な目的に対応できる部屋・設備</p> <p>・そのほか、軽運動室や調理スペースなど、ニーズの高い部屋やスペースを設けます</p> <p>【調理スペース】</p> <p>・料理教室や料理を教えあったり一緒に作ったりすることなどで世代間交流が行えるような、キッチン機能など水回りを備えた部屋を整備します。</p> <p>・全面調理台(アイランド)タイプ(調理台固定式、調理台可動式など)や壁面調理台タイプなどについて、他施設での利用状況や運営面も踏まえながら検討します。</p> |
| <p>各部屋・スペースの備品</p> | <p>・整体やマッサージ施術用の簡易ベッドや、ストレッチヨガマット、お茶やお花の道具類、電気ポット、ブランケット、姿鏡、壁鏡張り、加湿器、空気清浄器、掃除機などを設置または貸出しできるようにしてほしい。</p> <p>・各部屋の備品の机には車輪が付いていると移動しやすい。</p> | <p>備品や貸出し用品については、想定される諸室の用途と予算を踏まえて検討します。</p> | <p>【区民活動の支援】</p> <p>○多様な目的に対応できる部屋・設備</p> <p>・演劇やコンサートのほか、講演会や大規模なセミナー、展示会、発表会、フリーマーケットなど、若年層をはじめ幅広い世代の人たちが区内外から集まる、多様な使用ができる柔軟性の高いホールを設けます。</p> <p>・講座やセミナー、打ち合わせ等に使える会議室を設けます。大きな違う会議室を配置するほか、パーティションで区切るなどの工夫を行い、さまざまな用途に柔軟に対応できるようにします。</p> <p>・そのほか、軽運動室や調理スペースなど、ニーズの高い部屋やスペースを設けます。</p> <p>・これらの部屋やスペースには、防音や音響など、それぞれの用途に合った設備や備品を備えます。</p> |
| <p>空間</p> | <p>・他の人がどのような活動や使い方をしているのかがわかるような場所を。</p> | <p>来館者が興味を持ち、活動への新たな参加が生まれるよう、部屋の仕様(ガラス張り、低めの壁など)について今後検討していきます。</p> | <p>【区民活動の支援】</p> <p>○活動や交流を誘発する空間</p> <p>・中で何をやっているのかが分かりやすい部屋やオープンスペースを設けるなど、来館者が興味を持ち、活動への新たな参加が生まれるような工夫をします。</p> |

| | | | | |
|---------------------|--------------|---|--|--|
| | 発表・展示 | ・発表展示会場として使いたい。 | ホールや会議室において講座や教室の発表会ができるとともに、小さな作品展やミニコンサート等が行えるオープンなスペースを設けます。 | 【区民活動の支援】 ○活動の発表の場 ・ホールや会議室において講座や教室の発表会ができるとともに、小さな作品展やミニコンサート等が行えるオープンなスペースを設けます。 |
| | 講座・イベント・生涯学習 | ・今の施設でやっている講座などを継続的に行っていきたい。もっと若い人が増えるレッスンを増やしてほしい。病院が隣接するので予防医学の知識が得られ体験できる場にしたい。三世代で利用できる施設にしたい。周辺小中学校卒業生を招待した催事支援、学生を主体とした高齢者向けの催事支援を。 ・小中学校などと連携し、なるべく若い人に楽しくコミットしてもらえる機会をたくさん設けたい。 ・警察、消防、大阪みなと中央病院などとも連携できるように。オープンでフラットな運営を。 | 現在行っている教室や講座については、効果を検証し、効果の高いものについては引き続き実施します。 また、病院や図書館、区内関係機関のほか、さまざまな活動団体・グループと連携したり、関心の高いテーマを取り上げるなど区民のニーズを十分に把握し、幅広い年齢層の方に楽しんでいただける新たな事業について検討し実施します。 | 【区民活動の支援】 ○区民のさまざまな学びの支援 ・語学やダンス、アートなど各種教室や、ニーズや関心の高い講座、セミナーなどを開催するほか、それらの成果を発表する機会を提供します。 ・図書館や病院等と連携して、講演会や健康セミナーの実施など、さまざまな学びの機会をつくります。 |
| Ⅲ-2-3 【区民の交流の促進】 | 交流活動 | ・幅広い世代が活動、交流できる講座やイベントなどの充実。 | 幅広い世代が交流できる講座やイベントなどのプログラムや場の提供を行います。 | 【区民の交流の促進】 それぞれ持つ特技や経験を活かして他の区民と交流したり相互にサポートすることで、生きがいづくりやスキルの更なるアップにつなげます。また、それぞれの趣味や活動を他の人と共有することで得た喜びがさらなる交流の展開につながるよう促します。 |
| | | ・児童や保育園児などと高齢者が交流するようなものができれば。退職した方などを対象に昔遊びなどを子どもたちに教える高齢者を港区で募集して子どもたちに教えたりする。 | 高齢者と子どもとの交流を目的に、昔あそびやおもちゃづくり、読み聞かせ、囲碁や将棋などのプログラムや場の提供を行います。 交流プログラムの実施にあたっては、高齢者を対象にボランティアを募集し、ボランティアの発掘・育成を行います。 | 【区民の交流の促進】 ○世代間交流の機会の提供 ・高齢者と子どもたちが、昔あそびやおもちゃづくり、読み聞かせ、囲碁や将棋などを通じてふれ合う機会をつくります。 ・料理を教えあったり一緒に作ったりするなど、幅広い世代に関心の高いテーマを設定し、交流する機会をつくります。 ・卓球のように気軽に楽しめるスポーツを通じて、幅広い世代が交流できる機会を提供します。 |
| | | ・本を借り(読み)に来た小中学生とイベントや講座を開催する高齢者が昔ながらの料理や昔遊びを通じて交流する。 | 高齢者と親子との交流をはじめ、幅広い世代が料理などを通じて交流できるプログラムや場の提供を行います。 | |
| | | ・ボランティアに来た高齢者とあそびの広場に来た子どもが小ホールで卓球を通じて交流する。 | 幅広い世代が卓球などの手軽なスポーツを通じて交流できるプログラムや場の提供を行います。 | 【高齢者の生きがい・健康づくりへの支援】 ○高齢者の能力や経験を活かした活躍の場の提供 ・子どもに昔あそびや囲碁を教えたり、若いお母さんに料理をレクチャーするなど、高齢者が個人の能力や経験を活かせる機会を提供することで、社会参加を応援します。 |
| | | ・つどいの広場帰りの親子と病院帰りの高齢者が図書館で本を紹介しあう。 | 高齢者と子どもとの交流をはじめ幅広い世代が絵本や本を通じて交流できるプログラムや場の提供を行います。 | 【区民の交流の促進】 ○気軽に参加できる交流サロン ・音楽や歴史などの知識や育児などの経験を活かして区民が講師となってレクチャーを行ったり、本を紹介し合ったりするなど、参加者どうしが共通の趣味や話題について語り合える場を提供します。 ・外国人と異なる文化や言語を通じて交流する機会などを提供します。 |
| | | ・お茶や和食、お花など、外国人に「和」を体験してもらえる企画や取り組み。 | 外国人と区民(市民)との交流を目的に、異なる文化や言語についての体験プログラムや交流サロンなどを行います。 | |
| | | ・文化やアートの交流施設に。 | 上記のほかにも、さまざまな交流が生まれるよう、プログラムや場の提供を行います。 | — |
| | 交流のコーディネーター | ・それぞれの活動を結びつけるコーディネーターの導入。 | 区内のさまざまな活動団体やグループどうしの出会いの場を提供したり、活動をマッチングすることで、新たな活動の展開につなげます。 | 【区民の交流の促進】 ○団体やグループ活動のコーディネーター ・区内のさまざまな活動団体やグループどうしの出会いの場を提供したり、活動をマッチングすることで、新たな活動の展開につなげます。 |

| | | | | |
|---------------------------|-------------|--|--|---|
| Ⅲ-3 【いきいきとした暮らしを支える拠点】 | | ・施設が一つになることで今までの機能を失わないようにしてほしい。区民センターではボランティアが部屋を借りて講座を開いていることであったり、子ども・子育てプラザでは子どもが毎日遊べる場所があることや障がいのある子もいない子も見守ってもらえるなどの対応、行われている事業などをきちんと継続してほしい。それにプラスした交流ができればよい。 | これまで個別の施設として運営してきた「区民センター」「老人福祉センター」「子ども・子育てプラザ」が持つそれぞれの機能と、(仮)交流会館に移転・拡張する港図書館の機能を相乗的に発揮させることで、各機能の充実強化を図ります。 | 【いきいきとした暮らしを支える拠点】 これまで個別の施設として運営してきた「区民センター」「老人福祉センター」「子ども・子育てプラザ」が持つそれぞれの機能と、ここに移転・拡張する港図書館の機能を相乗的に発揮させることで、各機能の充実強化を図ります。 |
| Ⅲ-3-1 【子育て・子育てへの支援】 | つどいの広場・軽運動室 | ・子育てプラザの広い子どもの遊べる場所。 | 現在の子ども子育てプラザの「つどいの広場」を基本としつつ、現在の軽運動室と同等以上の大きさのスペースを確保し、安全面を確保しながら、さまざまな年齢の子どもが毎日利用でき、保護者どうしが広く交流できるよう検討します。 | 【子育て・子育てへの支援】 ○これまでと同等以上の軽運動室 ・現在、多くの事業が行われている「子ども・子育てプラザ」の軽運動室は、利用者の満足度が高いスペースになっています。周りを気にせず、子どもたちが自由に遊べるよう、現在と同等以上の軽運動室を確保します。 |
| | 授乳室 | ・授乳スペースの充実。 | 授乳スペースを確保し、必要な設備を整えます。 | 【子育て・子育てへの支援】 ○目的に応じて住み分けされた部屋の構成 ・授乳室をはじめ衛生面やプライバシーに配慮した子育て中の親子専用の部屋やスペースを確保します。 【専用スペース】 ・子育て中の親子のプライバシーに配慮した授乳室、高齢者がいつ来ても気軽に利用できる娯楽スペースを整備します。 |
| | 自主的な子育て活動 | ・子育てサークルで集うことのできるもう少し大きな部屋があるといい。 | 「つどいの広場」以外の活動の場については、施設利用者どうしの交流の機会が増えるよう、講座やサークル活動等については、共用の部屋やスペースを利用していただきたいと考えています。 | 【子育て・子育てへの支援】 ○目的に応じて住み分けされた部屋の構成 ・・・一方、施設利用者どうしの交流の機会が増えるよう、講座やサークル活動等については、共用の部屋やスペースの利用を基本とします。 ○自主的な子育て活動の支援、ボランティア人材の育成 ・子育てサークルの立ち上げや活動への助言・支援を行い、子育てサークルやサロンの活動を支援します。 |
| | 一時保育 | ・一時保育をしながら、保護者を対象としたイベントの実施。 | 会館で行うイベントなどの一時保育に協力してもらえるボランティアの発掘・育成を進めます。 | 【子育て・子育てへの支援】 ○自主的な子育て活動の支援、ボランティア人材の育成 ・子育て支援に関わるボランティア人材を育成します。 |
| | イベント | ・孫と来て楽しめる、親子で来て楽しめるようにしたい。 ・港区祖父母の日を設定し、託児所と連携した催事。 ・地元企業参加での簡易キッズニアを開催する。 | 子育て支援団体・グループや図書館等と連携し、絵本の読み聞かせをはじめ、子どもはもちろん、親子や幅広い世代で楽しめるプログラムを提供します。 | 【子育て・子育てへの支援】 ○子育て中の親子の支援 ・子育て家庭を対象とした子育て支援講座、講演会やセミナーを開催し、子育てに関する必要な知識・ノウハウを学べる場とします。 ・子育て支援団体・グループや図書館等と連携し、絵本の読み聞かせをはじめ、子どもはもちろん、親子や幅広い世代で楽しめるプログラムを提供します。 |
| | 絵本の読み聞かせなど | ・乳幼児の読み聞かせスペース。 ・成長記録のサービス。 | 絵本の読み聞かせや成長記録のサービスなど、現在子ども子育てプラザで行っているサービスについては引き続き実施します。また、より効果的な子育て支援サービスについて今後検討していきます。 | |
| | 飲食 | ・子どもと一緒に飲食できるスペースがあるとよい。 | 飲食できるスペースとしては、共用のカフェスペースを確保する予定です。カフェスペース以外に飲食できるスペースや持ち帰りルールについて、今後検討していきます。 | 【気軽に立ち寄り集える場の提供】 ○自由に利用できるカフェ・スペース ・簡単な飲食ができるカフェ・スペースを設け、多様な世代が自由に利用できるようにすることで、学校や職場などとは違う区民の居場所をつくります。 |

| | | | |
|---------------------------------------|--|--|--|
| | <p>設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと来ても楽しめるように施設を充実してほしい。 ・読み聞かせ用の図書館。 ・大きめのプレイジム。 ・卓球やビリヤードなどができる軽運動室。 | <p>図書館と連携した読み聞かせや親子で楽しめるイベントなどのプログラムを充実します。</p> <p>遊具等については予算等を踏まえて整備します。</p> <p>子ども向けではありませんが、「つどいの広場」とは別に卓球などの手軽なスポーツが楽しめる軽運動室を確保する予定です。</p> | <p>【子育て・子育てへの支援】</p> <p>○子育て中の親子の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援団体・グループや図書館等と連携し、絵本の読み聞かせをはじめ、子どもはもちろん、親子や幅広い世代で楽しめるプログラムを提供します。 <p>○これまでと同等以上の軽運動室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、多くの事業が行われている「子ども子育てプラザ」の軽運動室は、利用者の満足度が高いスペースになっています。周りに気にせず、子どもたちが自由に遊べるよう、現在と同等以上の軽運動室を確保します。 <p>【区民活動の支援】</p> <p>○多様な目的に対応できる部屋・設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのほか、軽運動室や調理スペースなど、ニーズの高い部屋やスペースを設けます。 |
| <p>Ⅲ-3-2 【高齢者の生きがい・健康づくりへの支援】</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・囲碁、将棋、ビリヤードなど男性の老人園になっている。また新規に入りにくい雰囲気がある。 ・厨房をつくって高齢者の食事サービスに活用してほしい。 | <p>男性高齢者のいきがいづくりに配慮しながら、他の利用者も気軽に立ち寄り楽しんでいただけるよう工夫します。</p> <p>キッチン機能を備えた調理スペースを確保する予定ですので、簡単な食事サービス程度であれば実施していただくことが可能です。</p> | <p>【高齢者の生きがい・健康づくりへの支援】</p> <p>○自由に使えるスペース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サークル活動や同好会等の決まった日に集まって行う活動以外に、何気なく来館し、囲碁や将棋、ビリヤードをして楽しんだり、お茶を飲んだりできるスペースを確保します。 <p>【専用スペース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の親子のプライバシーに配慮した授乳室、高齢者がいつ来ても気軽に利用できる娯楽スペースを整備します。 <p>【高齢者の生きがい・健康づくりへの支援】</p> <p>○高齢者の生きがいづくり・健康づくりの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が生き生きと活動でき、生きがいづくり・健康づくりにつながるよう教養講座や、囲碁将棋、卓球大会などの各種イベントを充実させます。 ・大阪みなと中央病院と連携して健康に関するセミナーやイベントを開催したり、ボランティアグループによる高齢者向けの食事サービス活動の場を提供するなど、介護予防や健康づくりへの支援を強化します。 |
| <p>Ⅲ-3-3 【読書・情報活用・多様な学びの支援】</p> | <p>図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館には、本について相談できて探してくれる人は確保してほしい。 ・本に関わるボランティアへの活動支援を充実してほしい。 ・講演会やおはなし会などの催しなど多目的に活用できる部屋がほしい。 ・図書館まで行かなくても本の貸出や返却ができるよう利便性を高めてほしい。 | <p>現状と同様、司書職員の配置を考えています。</p> <p>図書ボランティアのより一層の活動支援を検討していきます。</p> <p>多目的室の設置を検討します。</p> <p>利便性のより一層の向上について検討します。</p> | <p>—</p> <p>—</p> <p>【読書・情報活用・多様な学びの支援】</p> <p>○多様な利用者を考慮したスペース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の催しなど多目的に使用できる多目的室、ボランティア室を図書館内に設けることを検討します。 <p>【読書・情報活用・多様な学びの支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・…図書館利用の利便性のより一層の向上に向けて、官民連携の手法などさらに研究、検討を進めます。 |

| | | | | |
|------------------------|----|--|--|--|
| | | <p>・中高生が学習に使える部屋がほしい。</p> <p>・自習室があればよいと思う。子ども達の学習の場。大人も静かに書類を書いたり、構想を練ったりするところ。高齢者も図書館で借りた本を読んだりできる。有料にして、本当に必要な人が使える場所を希望する。</p> <p>・ファーストフード店やファミリーレストランで勉強している学生や大人を見かける。まわりに気兼ねなく落ち着いて学べるスペースをつくって、「想像発信の街」をアピールしたい。文化的な街(港・アート、学校(教育施設)、病院、スポーツ施設、音楽(関西フィルの基点))</p> <p>・インターネットを通して本や資料等の情報の入手が容易になった現在、図書館は、単に本や資料を提供する施設でなく、個人やグループで学び合って行う主体的な学び(特に子どもの)を積極的に支援する施設となしてほしい。そのためには、多様な学び・コミュニケーション・グループでの協同作業を支援する心地よい学習空間(ハード)を整備するとともに、それらを支援する様々なサービスや事業(ソフト)も行ってほしい。</p> | <p>中高生に対する学習支援など多様な学びの支援について検討します。</p> <p>また、オープンな多目的スペースを活用して、放課後の自習などに使えるようにします。</p> | <p>【読書・情報活用・多様な学びの支援】</p> <p>○多様な利用者を考慮したスペース</p> <p>・中高生に対する学習支援など多様な学びの支援について検討します。</p> <p>・オープンな多目的スペースを活用して、放課後の自習などに使えるようにします。</p> |
| Ⅲ-4 【防災・減災の拠点】 | 防災 | <p>・地震に対する基地になる避難所また物品の備蓄。</p> <p>・災害時の防災拠点として、災害状況をリアルタイムに表示でき、減災指揮を容易にしたスクリーンのあるバックヤードがある多目的ホール。</p> <p>・多目的ホールバックヤードでの減災指揮、ホールは救急救命・救護所。</p> <p>・大阪みなど中央病院との連携で災害避難対策も講じられており安心している。ヘリポートの導入は新しい会館の面積では無理ではないかと思う。病院が屋上にヘリポートを設置するのであれば災害時、病院と会館とがどのように対処するか、協議して練っていく必要がある。</p> <p>・交流会館に防災までの機能を負わせるのは過大ではないか。緊急時は多様な避難者が押し寄せることになるが対応することができるのか。また面積が限られている中で備蓄倉庫は確保可能なのか。そのあたりをシミュレーションできているのか不安である。</p> | <p>津波避難ビルとしての役割を果たすとともに、帰宅困難者等のための物資等の備蓄を行い災害時には備蓄物資を配布します。また、区役所や警察署の災害対策本部代替機能や病院との連携による災害時医療等の機能を果たします。</p> <p>ヘリポートについては、関係法令等を踏まえながら、必要性や費用対効果なども勘案し、屋上の有効活用も含め可能であれば導入します。</p> | <p>【防災・減災】</p> <p>○避難場所(津波避難ビル)</p> <p>・大規模な災害が発生し、又は発生のおそれがある場合に、その危険から逃れるための避難場所(津波避難ビル)としての機能を担います。</p> <p>○大規模な災害を想定した備蓄</p> <p>・大規模な災害が発生した場合、施設利用者等がすぐに自宅に帰れないことが想定されます。また、交通機能が停止した場合、速やかに帰宅できない帰宅困難者が発生し、交流会館へ避難することが想定されることから避難者用の備蓄物資を配備します。</p> <p>○大阪みなど中央病院との連携</p> <p>・大規模な災害時の医療拠点となる病院が隣接する立地を活かし、被災によるけが人等が病院内に収容しきれない場合の活用など、災害時も円滑な連携ができるようにします。</p> <p>○港区災害対策本部及び港警察災害対策本部の代替機能</p> <p>・大規模な災害が発生し、区役所機能が失われた場合は、区災害対策本部を設置します。</p> <p>・港警察署の機能が失われ、区役所の機能も失われた場合は、港警察署の災害対策本部を設置します。</p> |
| Ⅳ-1 【利用者が使いやすい施設運営】 | 全体 | <p>・セキュリティはしっかりした上、観光客や地元の人が使いやすい空間をつくる。</p> | <p>より多くの方々に利用していただけるよう、安全面に配慮しながら、気軽に立ち寄れる空間構成(駅との接続のほか、誰でも利用できるカフェスペースやオープンな多目的スペースの提供など)とするとともに、会館でのイベントや活動、区内の催事などさまざまな情報の提供を行います。</p> | <p>【利用者が使いやすい施設運営】</p> <p>(仮)交流会館は、「区民センター」「老人福祉センター」「子ども子育てプラザ」や「港図書館」の施設利用者が訪れるだけでなく、弁天町駅に隣接することから、さまざまな立場や年代の人が利用する機会が増えることが想定されます。</p> <p>さまざまな人々にとって、利用したい、訪れたいと思ってもらえるような使いやすい施設運営を行っていきます。</p> <p>○ふらっと立ち寄れるしかげづくり</p> <p>・駅や商業施設、病院と隣接した施設として、Ⅲの2-1で掲げる「気軽に立ち寄り集える場」ができる空間構成とするとともに、さまざまな人が集まるようなプログラムや情報発信などを行っていきます。</p> |

| | | | |
|---------|--|--|---|
| 会館情報の発信 | <ul style="list-style-type: none"> ・交流会館で実施される様々な取り組みに関する情報がより入手できるとよい。 | 交流会館でのイベントや取組みについて会館内の掲示板はもちろん、区の広報紙やインターネットなどさまざまな広報手段で周知します。 | 【利用者が使いやすい施設運営】 ○会館情報のきめ細かな発信 ・より多くの人が、交流会館でのイベントや活動のを知り、関心のあることに参加できるように、会館内の掲示板はもちろん、区の広報紙やインターネットなどさまざまな広報手段で周知します。 |
| 予約システム | <ul style="list-style-type: none"> ・予約体制について、社会人も予約しやすくすべき。 ・区民センターの予約システムが変更になり、使用申込などパソコンに不慣れな人には扱いづらくなった。スタッフの教育を徹底し、詳しいスタッフが常駐してヘルプできるようにしてほしい。 | インターネットを活用した貸室の予約システムの導入をはじめ、利用手続きについての利便性の向上策について今後検討していきます。 | 【利用者が使いやすい施設運営】 ○利用しやすい施設の運営 ・インターネットを活用した貸室の予約システムの導入や利用しやすい利用時間区分の設定など、利用頻度を高める工夫についても検討します。 |
| バリアフリー | <ul style="list-style-type: none"> ・弁天町駅前の地下道に近い将来エレベーターが設置され、弁天町駅周辺のバリアフリー化は一変すると思われる。その中で(仮)交流会館は障がいを持つ方の利用の増加が予想され、誰にもやさしい港区役所の窓口対応のノウハウをもって、障がいを持つ人々にとっても利用したい、訪れたいと思ってもらえるような使いやすい施設運営を行ってほしい。 ・バリアフリーへの対応については、管理・運営にも関わるものである。スペース等を設けるだけでなく適切な誘導ができるなどの知識をもったスタッフがいるなど管理者に配慮してほしい。 ・視覚障がい者や聴覚障がい者も対象とした映画会を定期的に開催してはどうか。京都市では、「ユニバーサル上映」という名で毎月有償・無償で映画会が開催され、字幕・副音声がついている。また補助金もつくようで、上映に先立ち啓発フィルムが映され鑑賞者に普及活動が行われていた。新ホールが、大阪市のバリアフリーの拠点となるように考えてほしい。 ・障がいを持つ方など少数派の方々にも利用していただけるような取り組みが必要。ユニバーサル上映には一般の健常者も鑑賞に訪れ、映画を見ることそのものが啓発活動となり、障がいについての情報の公開となる。また、区民の中から字幕作成や副音声を添える活動を育成できれば、世代を越えた交流となり、弱者の役に立つことは生きがいとなる。きっと港区が誇れる、他区に発信できるすばらしい活動になる。 | <p>会館の運営にあたっては、障がい者をはじめ多様な人が安全かつ快適に利用できるよう努めます。</p> <p>会館において、関係団体等とも連携し、障がい者をはじめさまざまな方にとって意義のある催しなどの機会や場の提供を行います。</p> | 【利用者が使いやすい施設運営】 ○バリアフリーに対する配慮 ・子どもから高齢者までさまざまな年代をはじめ、多様な人が利用する施設として、バリアフリーに配慮した施設とします。 |
| 料金 | <ul style="list-style-type: none"> ・港区民としては、使用料はできるかぎり低めに設定をして、そのことにより利用増を図るべきと考える。 ・使いやすい会議室が安価で借りられるように。 ・施設使用料が高額になると一般人が気軽に借りられなくなるので、維持もしくは現在の使用料の2割増し程度におさえてほしい。(土日祝が高い) ・平土間の照明を一定の明るさにするだけで別途料金が発生する区民センターもあり、従来同様平土間の照明は基本料金でも使用可能にしてほしい。 ・「大阪市内に拠点のある団体」などの縛りがあっても構わないので、練習利用時は、少し基本料金より割引いてほしい。 | 貸室や附属設備の利用料金は条例等で定めることとなりますので、原則として、本市の他の類似施設と同様の水準となります。会館の設置目的等に沿って、利用料金の減免のあり方について今後検討していきます。 | — |
| 設備・サービス | <ul style="list-style-type: none"> ・使用時間限定の有料SNS導入。 | 設備やサービスについては、必要性等を踏まえ、導入について検討します。 | — |

| | | | | |
|----------------------------|----------|--|--|--|
| | マナー・あいさつ | <ul style="list-style-type: none"> 立派な施設ができて、利用する人のマナー、公からの一方的な制約など、運営が一番大変なところだと思う。(例)交流会館も利用者に無償ではなく、少額でも支払ってもらおうようにしてはどうか。 道徳教育をできるだけしっかりやってほしい。最近特にマナーの悪さが目立つ。 マナーの悪い人、マナーを知らない若い親世代と高齢者の共有が難しい気がする。セミナーやお楽しみ会など企画がたくさんあって仕切れる人がいればいいと思うが、フリーでふらっと立ち寄れる＝どんな人かわからないこわさを感じた。 見知らぬ人どうし(老若男女)が交流するきっかけとして、あいさつが大きな役割をなすと思うので(特に小中学生に影響を与えたい)、スタッフのこんにちは、さようならの声かけがいつも響いているような空間にしてほしい。 | <p>会館の運営にあたっては、ルールやマナーを守り、すべての方に気持ちよく施設を利用していただけるよう、啓発等に努めます。</p> | — |
| IV-3 【区民が関わることのできる施設運営】 | 参画・評価 | <ul style="list-style-type: none"> イベント等については、市民中心で企画運営していく。 企画公開、公開説明と区民の質疑、企画者の応答。予算を含めた企画・設計・運用をにらんだ人気投票を得た上で決定すべき。 運営する人や団体を長期固定化してはいけない。個人的利害が生じることなく、利益誘導などないようにしたい。 | <p>区民が主体となって会館運営に関わっていただくことが望ましいため、カフェスペースの運営や、オープンな多目的スペースを使ったイベントやワークショップの開催などについて、区民が企画し実施に関わる仕組みをつくります。</p> <p>また、施設の事業内容や利便性などについて定期的に施設利用者等にアンケートを実施するなど、運営について区民がチェックし、評価する仕組みをつくります。</p> | <p>【区民が関わることのできる施設運営】</p> <p>○施設で行われる事業や企画・実施段階への参画</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営者が施設における事業を企画し実施するだけでなく、カフェスペースの運営や、オープンな多目的スペースを使ったイベントやワークショップの開催などについて、区民が主体となって企画し、実施に関わる仕組みをつくります。 施設の事業内容や利便性などについて定期的に施設利用者等にアンケートを実施するなど、運営について区民がチェックし、評価する仕組みをつくります。 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 英語やその他の外国語を話せるボランティアの方々を中心に、外国からの観光客をもてなす学生や社会人のボランティアが育つ取り組み。 | <p>外国人に対応できるボランティアなど、特技等を活かして、施設で行われる事業に関わり、スタッフとして活動できるボランティアを発掘・育成します。</p> | <p>【区民が関わることのできる施設運営】</p> <p>○施設に関わるボランティアグループのコーディネート</p> <ul style="list-style-type: none"> 特技などを活かして施設で行われる事業に関わり、スタッフとして活動できるボランティアを発掘・育成します。 |
| IV-4 【効率的な施設運営】 | 収入 | <ul style="list-style-type: none"> ホールは事業的な要素を入れることで、運営などにつながるお金を生み出す仕組みを入れていく。 有料多目的ホール・バックヤードでの催事。 | <p>イベント等の事業は条例に規定する施設の設置目的(公共目的)の範囲内に限られるため、例えば有名アーティストなどを招聘して収益を上げること等は困難であると考えます。</p> <p>利用者が使いやすい施設とすることで利用率を向上させ、使用料収入の確保をめざすほか、有料ロッカー等の利用者の利便施設の設置などで収入を増やす工夫を検討します。</p> | <p>【効率的な施設運営】</p> <p>○収入を増やす工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者が使いやすい施設とすることで利用率を向上させ、使用料収入の増をめざします。また、有料ロッカー等の設置など、収入を増やす工夫を検討します。 |
| その他 | 安全 | <ul style="list-style-type: none"> 隣が病院ということで感染症などの蔓延防止などのリスク対策も必要。 安全面からは受付を別々に設けるなども考えるべきか? | <p>会館の建物は病院とは完全に別棟となります。また、駅接続の階段についても、屋外段階的な整備を予定しており、交流会館を利用しない病院利用者は交流会館内を通らない動線となるよう工夫します。</p> | — |
| | | | <p>これまで個別の施設として運営してきた「区民センター」「老人福祉センター」「子ども子育てプラザ」が持つそれぞれの機能と、(仮)交流会館に移転・拡張する港図書館の機能を相乗的に発揮させることで、施設利用者間でさまざまな出会いと交流が生まれるように工夫しますが、例えば乳幼児とその保護者が専用で利用するスペースなどについては安全面での配慮も必要であると考えています。</p> | <p>【子育て・子育てへの支援】</p> <p>子ども・子育てプラザで実施している、つどいの広場などの「地域子育て支援拠点事業」や「ファミリー・サポート・センター事業」「子育て活動支援事業」「児童健全育成事業」を引き継ぐとともに、子どもたちが安全にのびのびと利用できる環境を整備します。また、各施設が持つ機能を相乗的に発揮させるとともに、より多くの区民の参加・参画を促し、子どもたちの健やかな育ちをサポートします。</p> |

【ハード関連・その他】

| | | | |
|-----------------|---|---|--|
| <p>エントランス</p> | <p>・エントランスは入りやすいように、何をしているのかわかるよう見渡せる空間があれば。</p> <p>・1階のエントランス等共用するところ(床、土間)、雨の日はすべりやすいので、すべり止めの工夫をしっかりとしてほしい。</p> | <p>エントランスや施設の共用空間など多くの人の目にふれるスペースで、他の目的で立ち寄った方でもこれらのスペースでの活動の様子がわかるようなオープンな仕様をめざします。</p> <p>施設の仕様については、今後実施していく設計段階で検討します。</p> | <p>【エントランスを中心とした共用空間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広く明るいエントランスの確保をめざすとともに、共用空間において簡単な飲食のできるカフェスペースの設置を検討します。 |
| <p>ホール</p> | <p>・多目的ホールの収容人数は小ホール100名、中ホール300名。大ホール不要では？</p> <p>・建築技術上ホールを1階にとることは困難なことが多いため、動線の計画等で混雑に対応していくのがよいのでは。</p> | <p>ホールは、一部ロールバック式(※)400席程度(ロールバック席収納時の平土間面積は現区民ホールと同規模程度を確保)の多目的ホールを1か所、整備する予定です。他のホールについては、限られた敷地内での設置となるため、会館内での諸室の優先順位を決めながら検討します。</p> <p>※ 座席が収納可能となる形態</p> <p>低層階へのホールの設置は建設コストがかかることから、上層階に設置する可能性が高くなります。上層階に設置する場合には、建築基準法などの関係法令を踏まえながら、混雑に対応できるような動線となるよう工夫します。</p> | <p>【多目的ホール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部ロールバック式(※)座席が収納可能となる形態)400席程度(ロールバック席収納時の平土間面積は現区民ホールと同規模程度を確保)を基本とした多目的ホールを整備します。 |
| <p>和室</p> | <p>・座敷の部屋、和室で華道、茶道などの日本文化の拡散、発信。</p> <p>・区民センターの和室を重宝しているので、和室(茶室は別室)はつくってほしい。日本人の心を忘れずに次の世代に伝えたい。和室ならではの文化的趣味(書道や育児のサロンなど)をできるところが少ないので、なくさないでほしい。</p> <p>・港区民センターを新たに弁天町駅に移転する際には和室をなくさないでほしい。使用状況の低下で採算がとれないと全国の区民センターの和室がなくなっていく昨今、少数でもなくては困るという区民、市民の声を聞き届けてほしい。</p> | <p>和室については、港区民センターや近隣センターでの利用率は比較的低い状況にあります。他施設での利用状況や必要性、備品を工夫して他の諸室の活用ができないかどうか等も踏まえながら検討します。</p> | <p>【スタジオ・和室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完全防音機能を備えた音楽専用のスタジオや、和室の導入について、他施設での利用状況等を踏まえながら検討します。 |
| <p>駐輪場</p> | <p>・自転車置き場の整備。</p> | <p>「大阪市自転車駐車場の附置等に関する条例」で定められた台数はもとより、費用対効果や需要予測も勘案し、周辺道路等に影響が出ないように工夫します。</p> | <p>【駐輪場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大阪市自転車駐車場の附置等に関する条例」で定められた台数はもとより、費用対効果や需要予測も勘案し、周辺道路等に影響が出ないように工夫します。 |
| <p>駐車場</p> | <p>・パーキング(駐車場)の充実。</p> | <p>原則、公共施設へは公共交通機関での来館をお願いしたいと考えていますが、「大阪市駐車施設の附置等に関する条例」を踏まえ、敷地の規模や駐輪場などの他の施設の配置も勘案しながら、敷地内での確保台数について検討します。</p> | <p>【駐車場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原則、公共施設へは公共交通機関での来館をお願いしたいと考えていますが、「大阪市駐車施設の附置等に関する条例」を踏まえ、敷地の規模や駐輪場などの他の施設の配置も勘案しながら、敷地内での確保台数については設計段階で検討します。 |
| <p>環境・エネルギー</p> | <p>・芝生や緑があふれる庭園でくつろぐ。屋上にガーデンテラス。</p> <p>・屋上農園等はスペース的にかなり無理があるのでは？利用者の健康と幸せを守ってくれる、小さくてもいいから神社が屋上の片隅にでもあればよいと思う。</p> <p>・雨水に含まれる有害濁物を簡単にろ過する方法があればトイレ利用もOK。緑化用の水源にしてもOK。会館の南壁面に太陽光発電用のパネルを設置したらよいと思う。</p> <p>・太陽光発電と自家発電の違いは？スペースとコスト。急な停電のときすぐ役立つのはどちらも同じか？</p> | <p>快適で環境にやさしい建築物となるよう、関係法令等を踏まえながら、必要性や費用対効果なども勘案し、屋上や壁面の有効活用も含め可能なものについては導入します。</p> | <p>【環境・エネルギー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・快適で環境にやさしい建築物となるよう、関係法令等(「建築基準法」「大阪市建築物の環境配慮に関する条例」等)を踏まえながら、必要性や費用対効果なども勘案し、屋上や壁面の有効活用も含め可能なものについては導入します。 <p>【要望のあった主な事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋上緑化、壁面緑化 ・敷地内緑化 ・太陽光発電など |

| | | | | |
|---------|----------|---|---|---|
| その他 | 諸室配置 | <p>・高齢者、子ども施設は、ベビーカー、車いす、歩行しにくい方がいるため、1階がよいのでは。</p> | <p>施設内の部屋の配置については、今後実施していく設計段階において、建築基準法をはじめとする関係法令や建設コスト等を踏まえながら検討することになります。高齢者、子ども施設を上層階に設置する場合には、EVの設置など、利用しやすい施設となるよう工夫します。</p> | — |
| | 他の施設との接続 | <p>・津波災害時には、津波がおさまった後も弁天町駅前を中心に車両で渋滞混雑する(中央大通の北側と南側で分断される)ことから、地下鉄弁天町駅からの連絡通路は非常に重要。</p> <p>・駅接続はエレベーターで1階から3階までの動線の確保を。</p> <p>・防災拠点としての機能を向上させるために、「大阪みなと中央病院」との連絡通路の設置を提案する。連絡通路は災害時のみ機能する仮設でも可。</p> | <p>地下鉄弁天町駅3号出入口の階段機能を会館施設内で確保する予定であり、地下鉄利用者も利用しやすい場所にエレベーターを設置する予定です。</p> <p>病院との接続(連絡通路)については今後協議していきます。</p> | — |
| 設計や工事など | | <p>・建築家(建築会社)などヘプロポーザル募集する際には、企画の自由度を確保するため、なるべくしぼりがないように願う。例えばホールは400席の確保が最重要でなく、防音や音響設備、客席収納方法などを鑑みて300席でも構わないのでは？ワーキングでの意見をガチガチに反映するよりも、「交流の起点」としてふさわしいデザインを望む。港区民が愛着できるデザインを期待する。</p> <p>・世界一の区画整理事業の総まとめとなったが、協力していただいた港区民の方々に少しでもご恩返しができるよう、港区在住の建設業界、電設業界、セメント業界などに仕事の発注を優先できないか、法的にどうなのか検討してほしい。それぞれの業界ができないというなら仕方ないが。</p> <p>・この種の事業に絡んでくる利権者を見越し、勘案しておかなければ閑古鳥が鳴く無駄づかい施設となる。</p> | <p>設計業務の委託や工事請負の発注方法については、地方自治法など関係法令を踏まえながら今後検討していくこととなります。</p> | — |
| その他 | | <p>・在宅医療の支援は交流会館ではせずに、その機能を大阪みなと中央病院が全面的にバックアップするということでよいのか。</p> <p>・シンプルで安く作れる施設に。長年使えるように。</p> <p>・港区は大阪港と直結し、港区で働く外国人、居住人、海遊館に来る外国人、USJで働く外国人のマンションもあるので、交流案については、交流会館の構想案を知らせて彼ら、彼女らの意見などを聞いてみては。</p> <p>・これまでの「区民センター」「老人福祉センター」「子ども・子育てプラザ」の3つがそれぞれ果たしてきた役割と利用状況と問題点等について、反省点や継続すべき点などが報告されていない状況で構想を語っても検討に値するのかわからない。</p> | <p>弁天町駅前土地区画整理記念事業の共同事業者であり、港区で唯一の救急指定病院・総合病院である大阪みなと中央病院に、今後構築していく地域包括ケアシステムの後方支援機能と地域医療確保の役割を担っていただくこととしています。</p> <p>特定の目的に特化しない多目的利用が可能な施設とすることで、社会的寿命を延ばすとともに、社会的寿命が到来したのちにおいても、用途変更ができるよう可能な限り構造面においても工夫します。</p> <p>今後、基本構想案を具体化する過程で、(仮)交流会館で行う交流の内容などについて、必要に応じて、外国人の方々のご意見をお聞きます。</p> <p>基本構想案の作成にあたっては、各施設の目的や事業、利用状況、管理者の声、利用者の声(アンケート)を整理しています。その結果も踏まえて公募の区民の方々等による「弁天町駅前土地区画整理記念事業検討ワーキング」で議論していただくとともに、パブリックコメントや区政会議でのより多くの区民の皆さんの声を踏まえて基本構想としてとりまとめます。なお、これまでの検討状況については区ホームページでお知らせしています。</p> | — |